

# ご挨拶

この度、令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）の5年間の町政運営の指針となる『たぶせ未来戦略』を策定いたしました。

今回の計画は、全国的な人口減少や少子高齢化が進行するなかであっても、本町がいかにして持続的な成長・発展を遂げ、地域福祉の充実や行政サービスを維持していくための基盤を作り上げていくかに、特化したものといたしました。

これから、日本の人口は大きく減少していきます。本町も例外ではなく少子高齢化の影響が現実のものとなり、まちの人口が減少していきます。そのなかにあっても、「これまでどおり、安心して暮らし、健やかに子どもを育てることができる町」こそが、これからも田布施町が目指すべき姿であると考えます。

そのためには、少子高齢化の影響を少しでも少なくするとともに、同時に人口減少が避けられないという前提にたった行財政運営を行い、将来にわたって持続可能なまちづくりを実現するための取り組み、人口減少に備えるための取り組みも着実に進めることが必須となります。

加えて、町や地域に対する誇りや愛着を持ち、少しでも町を良くしていこうという当事者意識に基づくシビックプライドが大切になってくると思います。こうした思いが繋がれば、人口減少社会においても、地域活性化、福祉の充実や少子化対策にも良い影響を与えることができると思います。

こうしたことから、これまで以上に、「笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」の実現に努めるとともに、進学や就職などで、一度は町外に出たとしても「やっぱり田布施がいい！」と思っていただけるまちづくりに努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました、委員の皆様をはじめ、様々な機会を通じてご協力をいただきました皆様に心から感謝するとともに、お礼を申し上げます。

令和8年3月

田布施町長 東 浩 二